

事業発注の前倒しだが、市の財政状況から今は考えていない。

質問 仙北市の生活保護行政のあり方について伺う。住宅資産活用による長期支援資金制度の利用について再三申請したが、仙北市福祉事務所は認めなかった。その理由がわからない。なぜか。また個人情報開示についてだが、国保税の一部減免措置を仙北市に求めたが、申請書類を面で破棄された市民がいる。この事実を市長は知っているか。

答弁 住宅資産活用の生活保護者長期支援資金制度を仙北市で申し入れた件数は4世帯ある。不動産鑑定をした2件は該当外となった。もう1件は家族で対応することになった。残る1件は該当するが申請を拒否したものであり、仙北市が拒んだ事実はない。

個人情報関係についての質問だが、市長は承認していないので改めて確認したい。

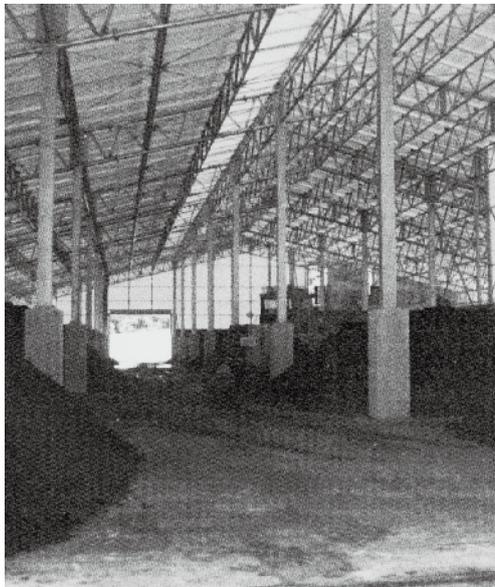
仙北市に堆肥センターの建設は？ 今後検討する！



黒沢龍己

質問 畜産農家の活性化と有機農業の推進について、平成21年から大幅な肥料等の高騰により、水田、畑作農家はこの先の経営を大変心配している。

答弁 こうした中、最近、食の安全、安心な農作物が非常に好まれている。今後はそれに付加価値を付



仙北市にも必要な堆肥センター（写真 美郷町）

けるためにも、循環・環境保全型農業が見直され、大切と考えられる。農業は、水田であれ、畑作であれ、基本は土づくりが一番大切なことである。そこで市の畜産堆肥を有効に、かつ有機肥料を土づくりとして市民に手軽に使っていただき、安全で安心な農作物を生産する施策として堆肥センターの建設について伺う。

答弁 最初に畜産農家の活性化と有機農業の推進という観点から堆肥センター建設の提案があつたが本年も農業委

員会からの建議書ももらった中に堆肥センターについてのこともあり、意見交換をした。市単独での施設を作るということではなく、畜産農家、農業者団体、農協等のこれに対する必要性、要望など十分調整しながら整備を進めていくことが最良であると思ひ、今後検討していく。

質問 農村の生活環境と農地生産基盤整備の確保について、農村環境事業として、農地、水、環境保全向上事業対策についての情報がまちまちでわかりづらいし、知らないでいる地域も多々ある。農業に従事している方々の高齢化が進み、水田の維持管理、景観保全がますます悪くなつてきている。市単独でも何らかの支援する必要があるのではないか。市長の考えを伺う。

答弁 農地、水、環境保全向上事業対策の件であるが水田面積4千数百ヘクタールの中で約半分ぐらいは、この恩恵を受けていない所があり、ここを、どのよう

にして救うかについては今後十分検討していく。又基盤整備の関係については、現在西木地区で、平成21年度までの事業として農道及び、農業用排水路の整備を進めている。21年度で終結する予定となっているが、今後

第三セクターの一元化を？ 可能性を検討する！



小林幸悦

質問 第三セクターにおいて、経営の形態が類似している会社（花葉館、西宮家、西木村総合公社、アロマ田沢湖）について、効率的な運営が可能となるように一元化し、各施設での事業の明確化した役割分担を図り、特色を生かした経営により自立できるような対策を考るべきと思うが。

答弁 現在まで、第三セクターの総合力

仙北市として基盤整備事業についてどのように取り組んでいくかということについては、21年度西木地区事業が終了する前に受益者負担のあり方も含めて検討しなければならないと思つている。

を出すとの意味で取組みはしてきている。現在第三セクター協議会を設立し、営業など共同で出来る部分については連携して行っている。経営体制の一本化については今後、その必要性や可能性を十分検討して進めたい。

質問 市の遊休資産（土地）において、現在その利用や処分について具体的に協議中のものはあるのか。

答弁 未利用財産等の利活用検討委員会を設置し、調査、検討を行っている。現在は、三ヶ所の資産（旧JA雲沢支所跡地、旧神代診療所跡地、仙岩団地分譲地）については、条件が整えばすぐ